

令和3年度 事業計画

I 基本方針

我が国の65歳以上の高齢者人口は、令和2年12月の人口推計によると3,622万人となり、総人口に占める割合は28.8%と、高齢化率は毎年過去最高を更新しており、少子高齢化と人口減少が急速に進行している状況です。

これは、蒲郡市の場合も同様の傾向にあり、令和2年12月現在の65歳以上の高齢者人口の割合は29.4%と前年同月比で0.2ポイントの増加をし、愛知県平均の25.0%を大きく上回る県内でも高齢化率の高い地域となっています。

このような中、地域経済の担い手となる生産年齢人口の減少により、地域経済の活性化のために高齢者の労働力が強く求められており、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は大きく、特に労働力不足となっている宿泊、飲食、小売といったサービス業や介護、育児等、現役世代を支える分野での就業促進が課題となっております。

当センターの令和2年度の事業実績については、新型コロナウイルスの影響により例年のような事業拡大はできませんでしたが、会員数については大幅に増加するなど、総じて堅調な推移となっております。

令和3年度も、シルバー人材センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うために、令和2年度に準備を始めた「女性部会」を正式に発足し、女性の活躍の場を広げるとともに、新たに「子育て支援」や「見守り・介護」など、新規事業への参入を重要課題として捉え、引き続き「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を活動の柱として「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、魅力ある地域高齢者の拠点として、さらに地域社会の発展のために、次の事業計画を策定し、シルバー事業を推進してまいります。

II 事業計画

- (1) 就業機会の確保と組織的提供事業
- (2) 指定管理事業
- (3) 有料職業紹介事業
- (4) 労働者派遣事業
- (5) 知識及び技能の付与を目的とした講習の実施事業
- (6) 調査研究事業
- (7) 相談事業
- (8) 安全・適正就業推進事業
- (9) センターの活動等について周知を図る事業
- (10) その他センターの目的を達成するために必要な事業

Ⅲ 活動計画

(1) 就業機会の確保と組織的提供事業

「就労意欲のある会員の就労支援」の理念の基に、地域社会に密着した仕事のニーズを把握・分析し、会員の就業ニーズとマッチングさせることにより、就業機会の拡大に向けた取り組みを行っていく。

- ① 会員の多様な就業ニーズや能力に応じた就業を確保するため、新規発注先の開拓や、過去の発注先への訪問、電話等による就業機会の掘り起こしを行い、請負就業、派遣就業、職業紹介など、多様な働き方の提供をする
- ② 会員の就業ニーズに応じた就業情報の提供を行うため、ホームページや会報の充実を図るとともに、就業相談を随時行うことで就業機会の拡大を図る
- ③ 女性の活躍の場を広げるために「女性部会」の活性化を図るとともに、育児支援や高齢者に対する家事援助サービスなど、新規事業への参入を検討する

(2) 指定管理事業

市民の豊かな人づくりのための生涯学習の場であり、高齢者の方が就業活動や趣味の活動を通じて積極的に社会参加し、生きがいを持って生活していただくための場である「生きがいセンター」の指定管理者として、利用者の立場に立った管理運営に努め、人づくり・地域づくりの拠点としての役割を果たす。

- ① 館内ロビーイベントとして、季節の催しや、会員、利用者の作品の展示、学習発表の機会などを企画し、「生きがいセンター」をたくさんの人に利用して頂くことで、利用者ならびに地域のみなさんとの交流の機会を促進し、情報提供の発信拠点としての役割を果たす
- ② 「生きがいセンター」の設置目的である、高齢者が生きがいを持って、積極的に社会参加をする場として、また、子供から大人まで豊かな人づくりのための生涯学習の場として、安心・安全な施設運営を推進するとともに、「生きがいセンターまつり」や「シルバー・オータムフェス」といった催しを企画することで、積極的に地域住民と施設利用者とのコミュニケーションを図り、地域の活性化に貢献する
- ③ 施設利用者に対してアンケート調査を実施し、その結果に基づいて「生きがいセンター」の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるように努める

(3) 有料職業紹介事業

企業の求人情報と、会員の求職情報をマッチングさせ、直接雇用が適切であると判断される仕事については積極的に有料職業紹介によって対応する。

- ① 企業訪問、就業開拓、ハローワーク等関係機関との連携などにより、企業の求人情報を幅広く収集し、直接雇用を望む会員への情報提供を行うことで事業の拡大を図る
- ② 有料職業紹介事業は、対象となる求職者が会員のみならず地域の高齢者も含まれていることを周知するとともに、発注者ニーズと求職者のニーズに沿って適正かつ適切な職業紹介を推進する

(4) 労働者派遣事業

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や介護等の現役世代を支える分野において、シルバー人材センターがこれらの業種の担い手として活躍することが期待されていることから、新規事業所への就業開拓を推進し、労働者派遣事業への就業機会の拡大を図る

- ① 多様化する地域の人材ニーズと会員の就業ニーズとのマッチングを図るため、派遣先事業所の新規開拓を進めるとともに、派遣会員としての知識、スキルの向上を図るために、シルバー会員に対する研修、教育を充実させる
- ② センター職員ならびに発注者に対して「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図ることで、就業の適正化を推進するとともに事業の拡大を図る

(5) 知識及び技能の付与を目的とした講習の実施事業

会員ならびに地域の高齢者が、希望する業務分野の知識や技能を意欲的に習得して就業の機会に繋げていくことを目的に、センターが研修や講習会等を積極的に企画、実施することにより、知識や技能のスキルアップを援助するとともに、生きがいの充実や社会参加の促進を図る。

- ① 地域の高齢者に対して、就業の知識、技能のスキルアップを図ってもらうため、県シルバー連合会の主催する「高齢者活躍人材確保育成事業」における技能講習を積極的に活用し、会員増強へのきっかけとする
- ② 会員向け公開講座として、女性のための生涯学習講座、職種別技能研修、マナー接遇研修、安全就業研修などを継続的に実施することにより、会員の資質向上、生きがいの充実、社会参加の促進、福祉の増進を図る

(6) 調査研究事業

シルバー人材センターの事業発展に資するため、高齢者の就業に関する調査研究および相談事業を実施する。

- ① 県内外のシルバー人材センターにおける事業先進事例を参考に、既存事業の改善、会員増強、新規事業への参入等を研究し、事業の拡大を図る
- ② 未就業会員に対し、アンケート調査や就業相談会等を実施することで、未就業理由の分析と適切な対応策を検討し就業率の向上を図る

(7) 相談事業

地域住民、発注希望者等からの、シルバー人材センター事業全般に関する相談や一般市民からの入会希望の相談、既存会員の就労に関する相談などに適切に対応することで、センターの円滑な事業運営と活性化を図る。

- ① 入会を希望する高齢者を対象に、毎月定期的に入会説明会を開くとともに女性限定、地域限定など、対象者を絞り込んだ説明会を開催する

- ② 既存会員の雇用・就業等に伴う問題、悩み事などについて、定期的に相談会を開催し、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員が生き生きと働ける環境づくりに努力し、センターの活性化を図る
- ③ 発注希望者に対しては、ホームページの充実、チラシやパンフレット等の配布、口コミなどにより、詳細な事業内容を周知し、就業機会の拡大を図る

(8) 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員の安全かつ適正な就業が重要な課題であり、安全意識の向上、作業中の事故防止、就業途中の交通事故防止などの啓発を図るとともに、就業形態の適正化のための各種事業を行う。

- ① 安全・適正就業意識の普及啓発のため、理事会専門部会の「安全対策部会」において安全就業講習会や安全標語の募集キャンペーンを実施する
- ② 安全就業パトロールを実施し、剪定作業での転落事故防止、草刈り作業での飛び石事故防止、派遣就労での危険作業防止のための注意喚起を行う
- ③ 会員および就業先企業などに対して「適正就業ガイドライン」の正しい理解と協力を求めるため、啓発活動を積極的に行い、周知徹底と就業の適正化を図る

(9) センターの活動等について周知を図る事業

シルバー人材センター事業の理念、活動を地域住民ならびに関係者に広く周知し、シルバー事業への理解と協力、会員の増強を図るため、積極的な普及啓発を行う。

- ① センター事業を広く周知するために、「生きがいセンターまつり」や「シルバー・オータムフェス」など、地域住民との交流の場を企画するとともに、生きがいセンターでは定期的にロビーイベント等を開催し、地域住民に対して積極的にシルバー人材センターの活動をPRする
- ② ホームページの充実や、地域イベントの「ごりやく市」への出店、ボランティア活動の実施などにより、センター事業の内容を広く情報発信するとともに、会員に向けては年2回発行の「いきいきだより」や毎月発行の「事務局だより」によりセンターの活動状況を報告し、シルバー事業への理解を深めてもらう

(10) その他センターの目的を達成するために必要な事業

高齢者の社会貢献活動を通じた健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献していくために次の事業を行う

- ① 蒲郡市からの委託事業である「高齢者介護支援ボランティア事業」を積極的に推進し、登録会員の増強ならびにボランティア活動の多様化を図る
- ② 「高齢者介護支援ボランティア事業」の拡大を図るために、地域の高齢者を対象に、ボランティア支援のための知識の習得と能力の向上を図る 各種講座を開催する